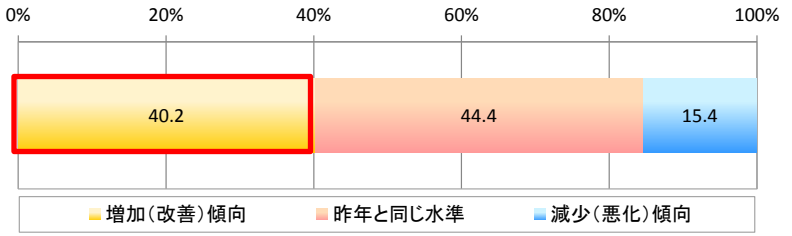
最近のトラック輸送に係る緊急調査（2013年12月時点）

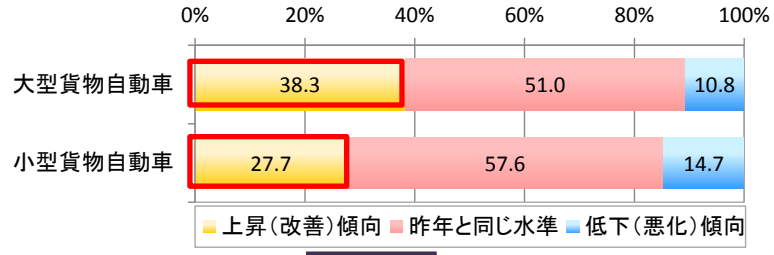
公益社団法人 全日本トラック協会 Japan Trucking Association

〇昨年の同時期と比較して、12月期の「貨物量が増加」とする事業者は約4割にのぼり、運賃は約10%前後の事業者が上昇（改善）傾向にあるとしている。
地域別では、東北・北海道・九州ブロックにおいて運賃水準が改善したと回答した事業者が目立つ。荷主側からは「運賃を上げてでも輸送力を確保してほしい」とする実態も確認されている。
〇年明けの需要に対して輸送力が確保できないとする事業者は34.2%、年明け後の運賃動向が上昇すると回答した事業者は14.6%となっている。

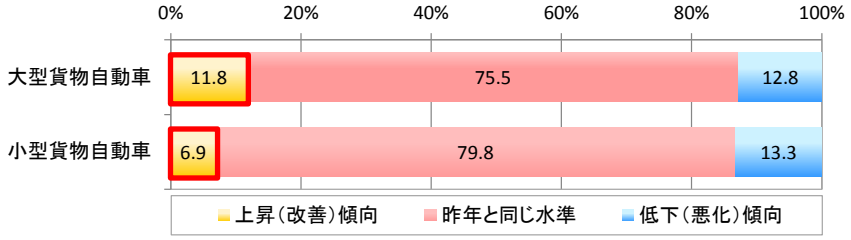
「12月期」の貨物量動向（昨年同時期と比較）



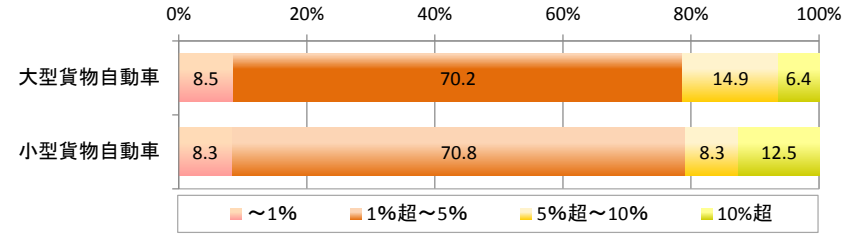
「12月期」の車両の稼働動向（昨年同時期と比較）



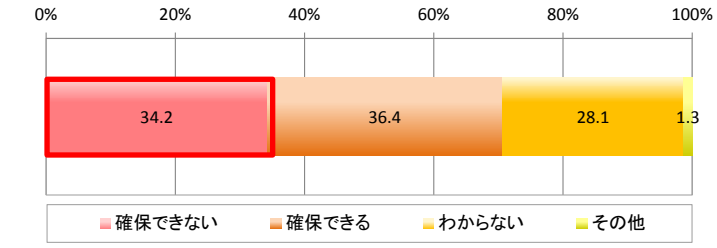
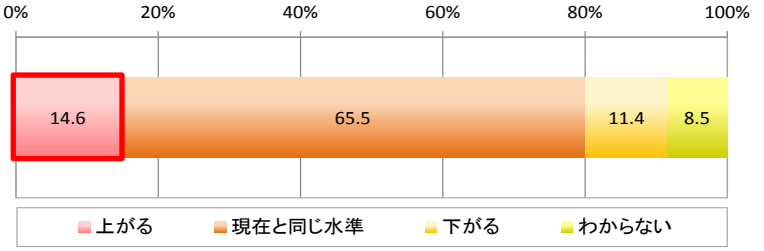
「12月期」の運賃動向（昨年同時期と比較）



「12月期」の運賃の改善状況（運賃が上昇とする事業者）



2014/1以降の需要見込みに対する輸送力の確保（見込）



2014/1以降の運賃動向（見込）